

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	町民課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点の方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実				
分野別方針	(10)地域間交流		実施計画事業	1)地域間交流事業(No.22)				
予算等事業名	町民活動推進事業(高山村地域間交流)							
目的	高山村・二宮町地域間交流事業は、環境の異なる地域のそれぞれの地域特性を活かしながら、相互の訪問を重ね、人と人との信頼関係を育み、世代間や地域間を超えた心の交流を目的としている。							
内容	毎年、7月に高山村から小学生親子等を招いて交流会(地引網等)を行い、8月には二宮町の小学生親子等が高山村を訪問し、高山まつりへの参加や笠岳登山等を通じてお互いの絆、心のふれあいを深めている。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	高山村地域間交流事業(受入れ 7月6日 訪問 8月3日・4日)						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	参加者数						
前期(27年度)目標値	189人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度の参加者人数で、二宮町からの参加者上限が40人までですが、平成25年度が34名参加でしたので、受入れと高山村に行く交流で2回事業を行いますので、不足人数6名×2回+前年度実績で積算しました。			
	177人						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		900	900				
財源内訳	一般財源	900	900				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 環境の異なる地域のそれぞれの地域特性を活かしながら、相互の訪問を重ね、人と人との信頼関係を育み、世代間や地域間を超えた心の交流を目的としており、実施する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 二宮町地区長連絡協議会に委託しています。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 ふるさとまつりでの経済交流や給食でのりんごの提供等があり、成果は出ています。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 高山村関係者と費用を掛けずに行えるように、事前に打ち合わせを行い適切に行っております。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 事業を行う事により、高山村との人や経済等の交流が生まれ、良い関係が築けているので、事業を継続していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	二宮町からの参加者が減少傾向なので、周知等の方法を考える。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	環境が異なる地域が交流することで、新しい発見や心のふれあいがあり、お互いの地域の活性化においても大きな効果がある。		
今後の方向性	参加者が増えるよう、交流内容の充実、参加者募集の周知方法等の検討が必要である。		